

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2006-65408(P2006-65408A)

【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-244132(P2004-244132)

【国際特許分類】

**G 06 Q 50/00 (2006.01)**

**G 06 Q 30/00 (2006.01)**

**G 06 Q 10/00 (2006.01)**

**H 04 L 9/32 (2006.01)**

【F I】

G 06 F 17/60 1 4 2

G 06 F 17/60 3 0 2 E

G 06 F 17/60 5 1 2

H 04 L 9/00 6 7 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月22日(2007.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動的に変化する情報を含むコンテンツを入力する入力工程と、  
前記動的に変化する情報の上限及び下限を取得する取得工程と、  
前記上限及び下限に基づいて被署名データを生成する被署名データ生成工程と、  
前記被署名データに対して署名を施して署名データを生成する署名生成工程と、  
を有することを特徴とする署名生成方法。

【請求項2】

前記動的に変化する情報は、コンテンツ利用制御情報であることを特徴とする請求項1に記載の署名生成方法。

【請求項3】

前記動的に変化する情報は、拡張可能マークアップ言語(XML)で記述されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の署名生成方法。

【請求項4】

前記動的に変化する情報には、動的に値が変化する数値化データと、その値域が記載されていることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の署名生成方法。

【請求項5】

前記値域は、上限値と下限値で構成されていることを特徴とする請求項4に記載の署名生成方法。

【請求項6】

前記被署名データ生成工程は、前記数値化データを前記上限値にセットした第1の情報と、前記下限値にセットした第2の情報とを生成することを特徴とする請求項5に記載の署名生成方法。

【請求項7】

前記署名生成工程では、前記第1の情報及び前記第2の情報と前記コンテンツに対して署名データを生成することを特徴とする請求項6に記載の署名生成方法。

【請求項8】

動的に変化する情報を含むコンテンツと前記コンテンツに関する署名データとを入力する入力工程と、

前記動的に変化する情報の上限及び下限を取得する取得工程と、

前記上限及び下限から被署名データを作成する被署名データ作成工程と、

前記被署名データより、前記署名データの検証を行う署名検証工程と、

を有することを特徴とする署名検証方法。

【請求項9】

前記動的に変化する情報は、コンテンツ利用制御情報であることを特徴とする請求項8に記載の署名検証方法。

【請求項10】

更に、前記動的に変化する情報が前記上限と前記下限の間に含まれるか否かを検証する範囲検証工程を有することを特徴とする請求項8又は9に記載の署名検証方法。

【請求項11】

動的に変化する情報を含むコンテンツを入力する入力手段と、

前記動的に変化する情報の上限及び下限を取得する取得手段と、

前記上限及び下限に基づいて被署名データを生成する被署名データ生成手段と、

前記被署名データに対して署名を施して署名データを生成する署名生成手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項12】

動的に変化する情報を含むコンテンツと前記コンテンツに関する署名データとを入力する入力手段と、

前記動的に変化する情報の上限及び下限を取得する取得手段と、

前記上限及び下限から被署名データを作成する被署名データ作成手段と、

前記被署名データより、前記署名データの検証を行う署名検証手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項13】

請求項1乃至7の何れか1項に記載の署名生成方法、又は、請求項8乃至10の何れか1項に記載の署名検証方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項14】

請求項13に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。